

あおぞら21

- 一般会計当初予算 139億9,237万円可決 (3月会議) 2
上野インター開通に伴う山間部の活性化策は? (一般質問) 14
議長に田端幸治氏、副議長に清水聖氏を選出 (4月会議) 19

表紙：新しく設置された砂場で遊ぶ園児たち (高木保育園)

3・4月定例会

29年5月15日

No.116

熊本・みふね町議会

一般会計当初予算 139億9,237万円可決

3月会議を3月8日から17日に開催した。29年度一般会計当初予算を含む議案等25件を審議採決した。

3月議会で決まったこと（3月8日～17日）

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
報告 11	専決処分の報告について	損害賠償の決定	無	報告
議案 39	工事請負契約の締結について	町道古閑迫線（支線・本線） 道路災害復旧工事	有	全会一致で 可決
議案 40	工事請負契約の締結について	普通河川山井川河川災害 復旧工事	有	全会一致で 可決
議案 41	平成28年熊本地震により被害を受けた土地 及び家屋に係る固定資産税の減免の特例に関 する条例の制定について	固定資産税の減免の特例に 関する条例の制定	有	全会一致で 可決
議案 42	御船町税条例等の一部を改正する条例の制定 について	地方税法施行規則の一部を改 正する省令の公布に伴う改正	無	全会一致で 可決
議案 43	御船町土地開発基金条例を廃止する条例の制 定について	土地開発基金条例を廃止	有	全会一致で 可決
議案 44	御船町学校給食共同調理場設置条例の制定に ついて	御船町学校給食共同調理場 （給食センター）設置による 条例制定	有	全会一致で 可決
議案 45	御船町職員の育児休業等に関する条例の一部 を改正する条例の制定について	地方公務員の育児休業等に関 する法律等の一部改正に伴う 改正	無	全会一致で 可決
議案 46	平成28年度御船町一般会計補正予算 （第10号）について	熊本地震に係る補正予算等 予算総額 歳入歳出21,683,564千円	有	全会一致で 可決
議案 47	平成28年度御船町国民健康保険事業特別会 計補正予算（第4号）について	熊本地震に係る補正予算等 予算総額 歳入歳出2,961,662千円	無	全会一致で 可決
議案 48	平成28年度御船町介護保険事業特別会計補 正予算（第4号）について	熊本地震に係る補正予算等 予算総額 歳入歳出1,821,476千円	有	全会一致で 可決
議案 49	平成28年度御船町後期高齢者医療事業特別 会計補正予算（第2号）について	熊本地震に係る補正予算等 予算総額 歳入歳出173,144千円	無	全会一致で 可決
議案 50	平成28年度御船町緑の村運営事業特別会計 補正予算（第3号）について	熊本地震に係る補正予算等 予算総額 歳入歳出137,871千円	有	全会一致で 可決
議案 51	平成28年度御船町公共下水道事業特別会計 補正予算（第5号）について	熊本地震に係る補正予算等 予算総額 歳入歳出540,339千円	有	全会一致で 可決
議案 52	平成28年度御船町水道事業会計補正予算（第 5号）について	熊本地震に係る補正予算等 予算総額 （収益的収入及び支出） 歳入330,046千円 歳出420,013千円 （資本的収入及び支出） 歳入17,163千円 歳出135,507千円	無	全会一致で 可決

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
議案 53	平成29年度御船町一般会計予算について	予算総額 歳入歳出13,992,376千円	有	全会一致で 可決
議案 54	平成29年度御船町国民健康保険事業 特別会計予算について	予算総額 歳入歳出2,805,929千円	有	全会一致で 可決
議案 55	平成29年度御船町介護保険事業 特別会計予算について	予算総額 歳入歳出1,768,866千円	無	全会一致で 可決
議案 56	平成29年度御船町後期高齢者医療事業 特別会計予算について	予算総額 歳入歳出210,575千円	無	全会一致で 可決
議案 57	平成29年度御船町緑の村運営事業 特別会計予算について	予算総額 歳入歳出15,458千円	有	全会一致で 可決
議案 58	平成29年度御船町公共下水道事業 特別会計予算について	予算総額 歳入歳出475,902千円	有	全会一致で 可決
議案 59	平成29年度御船町情報通信基盤施設運営事 業特別会計予算について	予算総額 歳入歳出55,235円	有	全会一致で 可決
議案 60	平成29年度御船町水道事業 会計予算について	予算総額 (収益的収入及び支出) 歳入歳出323,062千円 (資本的収入及び支出) 歳入97,076千円 歳出210,800千円	有	全会一致で 可決
議案 61	御船町老人憩の家の指定管理者の 指定について	指定期間の延長 契約者 (有) ツルカメ企画事務所	無	全会一致で 可決
議案 62	御船町コミュニティーセンター「ひばり荘」 の指定管理者の指定について	指定の契約 契約者 社会福祉法人 御船町社会福祉協議会	無	全会一致で 可決
議案 63	御船町水道事業及び簡易水道事業の設置等 に関する条例に基づく区域外給水について	区域外給水実施のため	無	反対者 池田議員
同意 2	御船町固定資産評価審査委員会委員の 選任について	選任 荒木誠一 氏	無	全会一致で 同意
陳情 12	五ヶ瀬区尾崎水道施設に関する 陳情書について	五ヶ瀬区尾崎水道施設の復旧	無	全会一致で 採択

御船町学校給食共同調理場設 置条例の制定

中城議員 働いていた職員は
全員給食センターに統合され
るのか。

米満学校教育課長 基本的
にはそういう考え。

中城議員 人件費は変わら
ないか。

米満課長 今回は大幅な減
はない。

平成28年度御船町一般会計 補正予算（第10号）

給食センターの予算は

藤川議員 学校給食センター
共同調理場の工事と備品購入
の数字の説明を。

米満課長 当初予算の請負工
事費に対して、1,500万円程度
工事費は減額している。備品
購入費について117万5,000円
程度減額している。

藤川議員 備品購入は平成28
年度予算では3,400万7,000円。

これが今度の補正前の価格で
は3,782万3,000円。いつ金額
が増えたのか。

昨日の課長の、私の一般質
問の返答では、工事費から備
品のほうに回したと言ったが。

米満課長 工事費からの流用
はない。

藤川議員 昨日は、工事費か
ら備品のほうに回したと聞いた。
企画課長にも確認した。

米満課長 備品からトラック
のほうに回したという答弁

だった。

藤川議員 昨日はトラック購入は1,700何万円と言った。工事業費の予算は1,350万円。だから、300何万円増減したのは、その工事費の残の不用額と言った。

米満課長 備品の節の範囲内での流用です。

藤川議員 予算が3,200万円から、この補正の3,700万円になった理由はなにか。

米満課長 工事費から備品費に流用した。

藤川議員 予算の移動はできるのか。

藤本企画財政課長 可能。

藤川議員 議会で承認しても、勝手に予算は変えられるということか。

藤本課長 人件費と物件費の流用はできないが、同じ人件費なら人件費内では可能ということだ。

藤川議員 各課で不用額が出たら、工事関係あたりに関しては適当にすることか。

藤本課長 そういうルーズな財政運営はもってのほかだと思っている。

解体の進捗は

岩田議員 今まで何割解体が終わったか。

宮崎環境保全課長 申請件数1,217件（約1,450棟）、3月10日現在で640件、取り下げが18件、先行解体127件、公費解体1,072件で、53.4%の進捗率となる。

岩田議員 2億8,000万円使って、何割ぐらい終わるか。

宮崎課長 3月末で約58%ぐらいの進捗率になる。

特別交付税

中城議員 特別交付税は12月は6億円交付されたが、3月はないのか。

藤本課長 3月の特別交付税の交付は17日頃を予定している。

人的支援は

福永議員 中長期の人的支援を何人受け入れたか。充足率は。

吉本敏課長 10自治体から延べ48人の派遣があった。42%が充足率。

財政調整基金

福永議員 財政調整基金の残高は幾らか。

藤本課長 8億6,203万8,000円となる。

学校備品関係が減額

福永議員 学校備品関係が減額された理由は。

米満課長 中学校の給食室受入施設に伴う備品が減額された。

全国大会の補正予算とは

福永議員 全国大会の補正予算が出ているがどのチームが行くのか。

藤本社会教育課長 御船中学校の硬式テニス部が3月に九州大会に出場する。

町営ゲートボール場

福永議員 町営ゲートボール場の方向性は。

藤本社会教育課長 今現在、災害のごみ置き場になっており、平成30年度に復旧の予定。

文化財補助金

福永議員 町指定文化財普及

補助金が事業計画の変更により減額となっている。

藤本社会教育課長 甲斐宗運の墓は、補助金の申請がなかった。

小坂大塚古墳は、積算ミスがあったのと、小坂自治区の収入になるので、最小限木の伐採、倒木の恐れを取り除いた。

福永議員 甲斐宗運の墓の事業申請は将来的にはされる予定か。また、甲斐宗運の墓は相当壊れているのか。

藤本社会教育課長 修復は自分でされたので補助金の申請は遠慮された。

中原団地の復旧は

福永議員 中原団地復旧に関する予算は取りあえず終わるか。

松岡建設課長 調査設計等の事業費、盛土部分の災害復旧、大規模盛土事業の予算等についても、今の段階で大方の予算は計上が済んでいる。ただ、団地の住居部分の災害復旧は査定の時期が平成29年度へずれ込む。



中原団地

町民グラウンドの調査

池田議員 町民グラウンドの調査とは。

藤本社会教育課長 町民グラウンド被害の調査をしている。被害の内容は、ナイター施設が傾いていることと土手崩れと排水問題。本格的な調査を、

ごみ撤去後にやって、早急に復旧作業に入る予定。

池田議員 どういう調査をするのか。滝川みんなの広場の調査はどうなるのか。

藤本社会教育課長 町民グラウンドは、平成30年度に国の災害査定にかけるとの予定で、それに適応した調査設計その他やりたい。

野口商工観光課長 滝川みんなの広場では、がれき置場が一時的にあったが復旧している。被災に遭った滝川みんなの広場の特別な調査はない。

池田議員 滝川みんなの広場はグラウンドゴルフとかゲートボールとかが、いつ頃ぐらいから使えるようになるか。

野口課長 4月から使用可能な状態にしていきたい。

総合グラウンド構想

池田議員 町民グラウンドの駐車場が足りないとの声があるが。

藤本社会教育課長 将来的なことも見据えて、今後の検討にはなる。

池田議員 今さら、今になって駐車場が足りないとはいかがなものかなと思う。

米満課長 給食センター敷地を一応フェンスで囲み、残地、余った土地の部分は、駐車場敷地として解放したい。

池田議員 財政も厳しいとは思いますが町民グラウンドを造る考えはないか。

藤本町長 私の構想としては、総合グラウンド構想というのを持っている。できれば御船町総合グラウンド、これは防災公園方式でいきたいという思いである。

私立保育所の予算

中城議員 私立保育所、認定子ども園が合計で4億3,800万円計上されている。この詳しい説明を求める。

坂本こども未来課長 御船町に住民票を有している児童で他の市町村の認定子ども園や事業所内の保育所に入園する児童が増えた。それともう一つ、認定子ども園の保育料は、園の直接収入として上がってくる。熊本地震により保育料の減免を行った。その分が園の収入減になっている。その分を町が運営費として措置するということで、3,000万円ぐらいの増額となっている。

現段階での被害件数

中城議員 現段階で全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊の件数は何件か。

道山福祉課長 全壊、大規模半壊、半壊で1,352件、持ち家、借家とも、半壊以上だが、2,204件の支給額が約7,000万円。

解体業者は

田上議員 解体には御船町の業者だけではなくて、県内・県外からきていた。現在はどうか。

宮崎課長 町内業者12社、町外業者11社、これは元請なんだが、この方々に今解体を依頼している。

田上議員 先月だったと思うが、高木地区の解体現場で西日本最大の窃盗団が逮捕されたと新聞やテレビを賑わせていた。御船町に対して、何か被害はなかったか。

宮崎課長 その方については存じている。それについて町内業者に確認したところ、元請というか、解体協に全部の解体を依頼している。解体協から地元業者、県内業者という方に依頼をされているけれども、下請の業者の方の中で、その方が勤務をされていたことを聞いている。

田上議員 勤務状況は聞いていたということだが、町長も知っていたか。

藤本町長 存じております。

田上議員 このとき逮捕されたメンバーの方は町長の友人であって、電話も頻繁にされていたと聞いている。今後、いろんなうわさ等が出ないように、その辺は考えてやって頂きたい。

緑の村の事業

田上議員 緑の村の事業の概



認定子ども園 みどりの里

略説明を。

野口観光課長 緑の村に新しく宿泊施設を刷新する。木材で枠組みの壁工法、2×4住宅の工法で、ドームキャビン7棟整備する。管理棟を担うドーム型のセンターハウスを作る。ここが避難場所として使えたり、夜のイベント等を天気が悪ければ、このセンターハウスの中で催す。

この造った施設を拠点として、周辺地域への生産の向上だったり、地域住民の所得の向上につなげるようなものに計画する。吉無田周辺の地域の皆さんを巻き込みながら、今回刷新する宿泊施設で、周辺の経済を潤す、また賑わいを創出していく。

田上議員 これだけのお金をつぎ込み、費用対効果はどう考えているか。

野口課長 年間約3,500人ほどの方にこの宿泊の計画をしている。PRの手段としてJT Bとの連携、近隣のミルク牧場との連携、化石発掘体験事業との連携・連動を図りながら集客を進めていく。

田上議員 化石広場と緑の村を回遊させると言われていたが、懸念されるのは、この途

中には旧のんびり村がある。これは2年前に宗教団体が来て、水が危ないとか、いろんなものが危ないと言われてきた。この問題は解決できたのか。

野口課長 この事業で、今問われた問題は考慮していない。いかにこの地方創生として地域におろしていくかが課題であり邁進していく。

藤本課長 昨年10月か11月にのんびり村に担当係長と入り現地を見てきた。特段、それまでの状況とは変わっていないかった。

田上議員 私が言ったのは法の問題とか、地形的な問題ではなくて、中身の問題だ。皆さん言っていたでしょう、「宗教団体が来て、あそこにいっぱいたくさん何か来て、水もなくなってくる、何するかわからない団体だよ、そういう危ない団体が来るんだよ」と言っていた。化石広場と吉無田高原の真ん中にあり、回遊させるのに問題はないのか。企画財政課長は景観条例を作ると言っていたがどうなったのか。

藤本課長 そのあたりは申し訳ないが進捗はしていない。

田上議員 では景観条例はどうするのか。

藤本課長 町長とも相談の上、十分検討して、その方針に従って進めてまいりたい。

田上議員 3,500人の集客に対して、月ごとにシミュレーションをしているとあったが、「ゆうすげの丘」はいつが見応えがあるか。

野口課長 「ゆうすげの丘」からの眺望が一番眺めがよくて、緑の村の一番売りの場所だ。何回か夜のイベント等を地元の方々と開いて、地元の食材等を提供して、地元にもお金がおりるようなシステムに作り上げていきたい。

田上議員 集客というが、人任せのような気がする。自分の足と目で見て考えて欲しい。

被災農家経営体の事業

田中議員 被災農家経営体の事業の103戸とは何か。

松永農業振興課長 申請された農家の戸数。

田中議員 戸数とは農業機械の被害したのを修理する、または建物も含まれる戸数か。

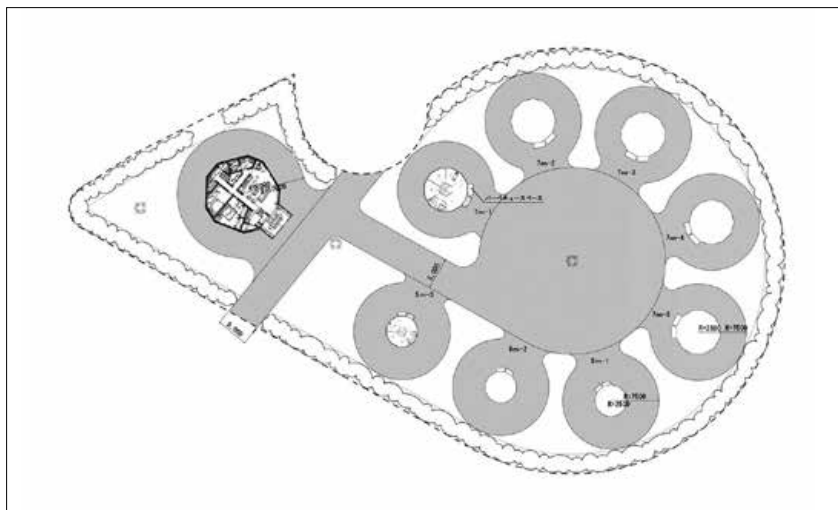
松永課長 農業施設、納屋等の修理、再建のために申請された件数が116件、それとまた別に、農業用機械の修理・再取得のための申請が111件になる。

田中議員 納屋、倉庫を再建するに当たって、期限というのはあるか。

松永農業振興課長 来年の3月末までに完成をしていただきたい。

小中学校の備品

森田議員 学校関係の一般の備品に関しては、大体要求全



ドーム型キャビン配置図（写真はイメージです）

額賄ったということでもいいか。
米満課長 小中学校の備品関係に関しては、予定どおり執行されている。

通学路の工事減額理由は

清水議員 通学路対策工事請負費が減額になっているが、どの工事が減額になったのか。

米満課長 災害復旧工事に組み入れられるものは、そちらに組み入れた。

清水議員 まだほかに付けるところがあると思うが。

米満課長 毎年夏場に行っている通学路安全点検のときに、各学校を通じて上げていただければ検討する。

コメリ前の防犯灯が切れている

田上議員 国道443号線のコメリから高木へ向かう国道沿いの防犯灯が消えているが、どこが管理しているか。

吉本敏課長 国道沿いの分は、町管理で行っている。

田上議員 消えているときは役場に言えばよいのか。

吉本敏課長 町でできるだけ早く対応はしたい。

田上議員 1カ月半ぐらい前に外灯が2つ消えていると伝えたが、まだ消えたままである。早目に対応をお願いする。

平成28年度御船町緑の村運営事業特別会計補正予算

吉無田高原の運営は

中城議員 吉無田高原キャンプ場の運営は民間委託がいいとの意見があるが、どう考えているか。

野口課長 当面は直営で考えていたが、今回、設計から整

備に1年間要する。その中で行政もしくは民間ということで、2つの選択肢をもって検討していく。

賑わう方策を

田中議員 現在水道水はあるが、どこから引っ張っているか。

宮崎課長 吉無田配水池から緑の村のところにタンクを設けている。そこで、ポンプアップをして、そこからの水の利用という形で、水道課が管理をしている。

田中議員 集客力を高め吉無田が賑わうようなそういう施策を打っていただきたい。

民間委託しなくて大丈夫か

田上議員 先ほど集客目標が3,500人という数字を出された。町で運営して、本当にそれだけ集客ができるのか。

藤木町長 私は間口を広く開けている。吉無田地区は、加速化交付金を入れて、拠点整備を入れていく。

旧のんびり村は安心できるか

田上議員 1億2,000万円もかけてやる事業だ。これは失敗したら、また町長の責任と言われかねない。あと、旧のんびり村、これは安心と思っていいわけか。

藤木町長 吉無田の大型開発の問題は、今も県のほう、月1回見にってもらっている。私たち町も、共同でいろんな話もしていくということを決めている。これからいろんな形で、あそこ周辺も含めて考えていきたいと思うし、また地域は地域で、里山法とかいろんな法があると思う。いろんなもので自然を守っていきたい。

景観条例は

田上議員 藤本課長は景観条例について、町長に申し伝えるところと言ったが、町長はどう考えているか。

藤木町長 里山法、景観条例、いろんなものがあるので、広く考えてまいりたい。



地元住民の出店で賑わう吉無田高原（MTB大会）

歳入

町債増加の補填

中城議員 普通地方交付税が昨年度より2,000万円増、特別交付税が震災対応で7,000万円の増、総額で1億円も増えていないが、町債の増加は交付税で補填されるとの回答ではなかったか。

藤本企画財政課長 普通交付税は今回増を見込んでいるのは、24年から25年にかけて緊急経済対策で起債している約8億4,400万円、その償還が29年度から本格化するので、その分が約6,500万円、そのうちの半分が交付税措置されるので、2,000万円ほどの増を見込んでいる。特別交付税については、これも同様に平成28年度の当初予算プラス、今回中長期の派遣職員の措置分を見込んでいる。

中城議員 私が質問しているのは、ほとんど昨年と変わらない。地方交付税の上乗せは期待できないのか、そうしないと借金は返せない。財政調整基金も特別交付金も増えていない。29年度は、復旧復興で歳出はどんどん増える。被災地としての措置はないのか。

藤本課長 起債して、最初の3年ぐらいは利子分だけ償還していくことになる。

総務費

沖議員 行政掲示板について、3カ所はどこを予定されているのか。

吉本敏課長 地区からの要望は上がっていないが、要望に対応するために、3件分を計

上したところである。

町長の要望活動は

岩田議員 町長の普通旅費が出ているが、東京の1回は少ないのではないかと。要望活動にはどんどん使っていいたうが。

藤本町長 要望活動等は私自身できる限り行きたい。例を挙げれば給食センター問題、やはり首長が行くことで対応は全く違った。省庁の方々と前向きな話ができて、給食センターを1年で建てるのができたと思う。今後も復旧・復興に向かって努力したい。

岩田議員 庁舎の清掃管理委託料700万円について、昨年よりもだいぶ上がっているが理由は何か。

吉本敏課長 27年、28年の2カ年で債務負担行為を組んで契約した関係で、去年は28年度分の委託料を計上してある。今回も、前回同様の予算額を計上しており、入札で前回ぐらいの金額に落ち着くと思う。

婚活事業補助金は

岩田議員 御船町婚活事業補助金15万円、これはもう少し予算を増やしてよかったのでは。

藤本企画財政課長 これは、ライオンズクラブの活動に対する支援を予定している。この他に今年度から出産・婚姻のお祝い金の制度も設けている。

岩田議員 昨年結婚された方は何組か。

坂本こども未来課長 63組の方が結婚されている。

田上議員 ふるさと応援基金についての説明を。

藤本課長 ふるさと納税で寄

附していただいた分を歳入として受け、全額基金に積み立てるようになっている。

田上議員 地域おこし協力隊の予算が幾つも出ているが、説明を。

藤本課長 地域おこし協力隊の募集は、一次の審査・書類審査が済んで、今月下旬に最終的な面接を予定している。

観光資源である化石の発掘体験を産業化していく仕組みづくりを担っていただきたいと考えている。それから、町の特産品の販路拡大を検討していただくなればと考えている。このことは、応募要項の中に文章で記載している。

田上議員 予算はどうなっているか。人数は4人なのか、2人なのか。

藤本課長 788万円ぐらいで、2名の12月分を予定している。

保険料6万円は2人分入っている。協力隊活動補助金384万円とあるが、これが地域おこし協力隊2人分の費用となる。年額にして、1人394万円となる。これを12で単純に割ると32万円ほどになる。

田上議員 募集要項を見ていないが、御船町外からの募集を出したのか。

藤本課長 この制度は、三大都市圏、東京、大阪、名古屋、または政令指定都市の住民の方に町に住民票を移してもらわないといけない。基本3年だが、3年過ぎても定住していただければ非常にありがたい。

福永議員 庁舎屋上防水改修工事、これは震災に係る工事ではないのか。

吉本敏課長 工事請負費と震災対応と2段書きをしている。

庁舎の屋上防水工事は多額の費用がかかるので、災害復旧事業債の対象として財務局等へ申請したい。

地方バス運行等特別対策補助金は

福永議員 地方バス運行等特別対策補助金が、350万円ほど増額になっているが、理由の説明を。

藤本課長 地方バス関係は、過去3カ年の実績を平均し、0.95掛けをしている。コミュニティバスは、3カ年の実績の平均を予算化している。

福永議員 地域おこし協力隊の財源措置はどのようになっているか。

藤本課長 1人当たり400万円を限度とした特別交付税の措置がある。

福永議員 特別交付税の100%措置があるとなっているが、人数の制限はあるのか。

藤本課長 地域おこし活動に協力していただくということであれば、特に職種・人数についての制限はない。

福永議員 地域の受入人数の調査・把握等を行っているのか。

藤本課長 調査を行ったことはない。

福永議員 今後は、地域受け入れのニーズを把握して、地域おこし協力隊の積極的導入を図っていただきたい。

藤本課長 山間部の活性化に、地域おこし協力隊の利用をできればいいのかなというところで、検討の対象として十分その余地はあると考えている。

福永議員 企業誘致コンサルタント調査業務委託、具体的内容をお願いしたい。

藤本課長 農振除外、農地法に関する調査をやり、企業誘致につなげることを目的とした業務委託を考えている。

福永議員 大きい企業を持ってくる従来の形にとらわれず、御船型企業誘致を確立していただきたい。

中城議員 地震災害に係る中長期的な人的支援と、負担金5名分5,900万円が計上されているが、どの部署でどのようなことをされるのか。

吉本^敬課長 18人の派遣を要請している。健康づくり支援課の保健師を1名、農業振興課の土木技術職を6名、建設課の土木技術職を10名、建設課の建築技師を1名、合わせて18人の要請を行っている。現在、全国8団体から8名が4月に予定されている。現在その人数で予算を計上している。

産業医委託料は

岩永議員 産業医委託料についての説明をお願いしたい。

吉本^敬課長 労働安全衛生法に基づいて産業医との委託契約を結んでいる。職員のメンタルヘルスケアを中心として委託契約を結んで、必要な面談やアンケート調査等を行っていただく予定。日赤の産業医と委託契約を結ぶことになる。

コンプライアンス研修は

森田議員 研修の話があったが、コンプライアンス研修はやっているのか。

吉本^敬課長 コンプライアンス研修はしていない。ぜひコンプライアンス研修も1回は入れたいと考えている。

森田議員 教育委員会にも同じことを訊きたい。

本田教育長 コンプライアンス研修についてはやっていない。

森田議員 コンプライアンス研修会はぜひやってほしい。不祥事を未然に防ぐためにも、やらなければならない研修会であり、顧問弁護士に頼めば、経費節減にもなる。今年は計画に入れてほしい。

田中議員 コミュニティーバスについて、平坦地区での運行はどのように考えているのか。

藤木町長 コミュニティーバスは、中山間地域を走っている。平坦地は地方バスが走っている。今後地方バスもいろんな形で運行する考えがあると聞いている。今後は地方バス関係者と話をしながら、コミュニティバスの運行も考えなければいけない時期が来ると思っている。

民生費

上野保育園の送迎バスの件

沖議員 上野保育園の送迎バス収入は7万3,920円で、年間のバス運行委託料は約300万円だ。送迎バスに代わる策はないのか。

坂本こども未来課長 平成30年度からは園児が1名になるので検討したい。



木の香りの上野保育園

老人憩いの家について

福永議員 老人憩いの家の指定管理料が50万円上がっている理由は何か。

道山福祉課長 当初の頃と比べて利用者が半分以下に減ったことで経常赤字が出ていることから、次に指定管理の募集をかけるときには300~400万円ほど上げての募集になると考える。契約を1年延長することになったので、重油分の相当額を上げることにした。

仮設住宅の浄化槽について

沖議員 仮設住宅の浄化槽の管理はどうなっているのか。

松岡建設課長 町内3業者に浄化槽の点検や清掃管理を委託している。29年度は改めて委託をする。

沖議員 今までのように御船川右岸と左岸で分けると、平等な割り振りにならない。

松岡課長 可能な限り平等になるように決めている。

沖議員 全く平等になっていない。平成29年度は、28年度

の契約と同じか。それとも交代で契約するのか。

松岡課長 平等になるように努めたい。

沖議員 口でただ平等になるようにと言っているが、実際になってないから尋ねている。28年度と29年度は交代するなら平等だ。

松岡課長 非常に難しい問題でもある。可能な限り努力をしていきたい。

病児・病後児の預かり

田上議員 病児・病後児の緊急預かりとは？

坂本課長 病児緊急預かり事業委託料として60万円を計上している。これは、保育園や自宅で、病児保育室の施設の間、子どもが急に病気になった時、保育園からの呼び出し等があった時に保育園から病院までの送迎、そして病院から自宅までとか、病院から病児保育室までの送迎、この分に係る委託料だ。

田上議員 病児・病後の委託

料は「みるく」に対するものか。

坂本課長 病児・病後児保育事業委託料、病児緊急預かり事業委託料、両方とも「みるく」に対するものだ。

田上議員 「みるく」での預かりはいつまでに連絡すれば利用できるのか。

坂本課長 病児・病後児保育は事前に登録が必要。連絡は前日の午後10時まで。インターネットでも申し込みができる。それから保育園等に子どもを預け、保育園から熱があるとかで急に電話があった時の対応ができないか検討している。

避難行動要支援者システム

岩永議員 避難行動要支援者システムは、現時点できちんと整備されているか。

道山福祉課長 27年度に避難行動要支援者名簿を作成するため、障がいのある方に通知を出したが、登録し要支援者であることを平常時から色々とところに情報公開して構わ



みるく病児保育室

ないという回答は32%。68%は未回答、または承知しないということだったので、32%の方しか登録ができなかった。昨年の議会で平成28年度中にかけて、民生委員等を通じて聴き取りを行い、要支援者名簿の完成に向けて努力したいと答えたが、今も未完成だ。

岩永議員 未完成ならば今後どうするのか。

道山課長 民生委員や福祉協力員にお願いして要支援者からの聴き取りが必要と思っているが、民生委員等は、震災被災者対応に当たってもらっている。それがひと段落してから、要支援者システムの登録に当たってもらう。

岩永議員 これも優先的に進めるべきだ。今、地震の影響が残っている時にこそ、聴き取りが貴重な資料になる。民生委員・児童委員協議会と話を進めてほしい。

道山課長 要支援者システムも大事なものだから、民生委員会に相談したい。

衛生費

福永議員 不法投棄防止看板代が計上されていないがその理由は？また不法投棄の現状はどうか。

宮崎環境保全課長 震災の影響で要望がなかった。平成28年度は上梅木、陣、竹の迫、下梅木、上高野、宗心原で不法投棄があった。上高野以外は町職員で対応した。不法投棄をした人物を特定できる場合は保健所、警察署と連携しながら、その者に回収をお願いしている。

福永議員 解体廃材の不法投

棄はないのか。

宮崎課長 空き缶と燃えるごみの不法投棄が多い。上高野では解体の廃材等があった。

田上議員 臨時職員2名分、この臨時職員は何をするのか。

宮崎課長 環境保全課窓口での申請受付及び解体現場等へ出向いての処理事務、女性職員については解体処理後の申請等の受け付け整理を行っている。

田上議員 仮置き場の交通整理の警備員は何人予定しているか。

宮崎課長 警備会社から3名、そして誘導員にシルバー人材センターから2名を雇用している。

田上議員 住民説明会で粉塵も飛ぶ、交通上も危ないから2人では足りないという意見が出たが、そこは考えているのか。

宮崎課長 地区住民の要望があり、現在は散水車を常時下の国道443号線まで動かしている。また、一次仮置き場の排水の仮溜め、運搬車両の水洗いで対応し、粉塵防止策、環境調査を年4回、来年の3月まで行う。

農林水産費

メッシュが鳥獣害対策に効果的

岩田議員 電柵ではイノシシ、サル、シカには対応できない。昨年から中山間直接制度を使って、金網(メッシュ)200mを試験的に張った。効果は良いが値段が

高い。今後このメッシュに変えたらどうか。

松永農業振興課長 町の鳥獣害防止対策協議会が行う事業の中で、昨年度電柵は8カ所。今後はメッシュも協議会と協議していきたい。

商工費

吉無田高原の活用について

田端議員 吉無田にイベント的なものは考えていないか。

野口商工観光課長 地方創生の予算を活用し整備していく中で、年間を通したイベントを地元NPO団体と一緒にやっていきたい。

町内の創業者への支援について

福永議員 創業支援のために新規町内業者に対しての利子補給が必要だ。

野口課長 産業競争力強化法の中で、創業支援事業計画を町が認めた創業者に、国からの補助金がある。この国の補助金に上乗せして創業の初期投資に対する補助を出す自治体もあるので検討していきたい。

消防費

福永議員 女性消防団員はど



消防団出初め式

のような方向性で臨むのか。
吉本敏総務課長 消防音楽隊の3名は条例定数の中に含めている女性の消防団員である。音楽隊という限定された中での活動である。今後は、女性消防団員の役割等について整理したうえで、募集をするなり活動に繋げていければと考えている。

福永議員 分団が自分たちの判断で、募集することは可能か。

吉本敏課長 可能である。ただ活動内容を消防団の分団幹部を含めて協議をする必要がある。

福永議員 どのような形の防災行政無線を計画しているのか。

吉本敏課長 今年度は委託料を計上している。プロポーザル方式で、御船町にあう防災行政無線の選定をしていきたい。

福永議員 団員の出動手当が、

1,000円から今回2,000円になった理由はなにか。

吉本敏課長 災害の種類、規模に関係なく、交付金として今回2,000円とした。

沖議員 団員不足は非常に問題だ。分団の統廃合、並びに班の統廃合についての思いを聞きたい。

吉本敏課長 分団や班の統廃合は、地元の要請により今までは考えていた。

災害復旧費

福永議員 災害復旧費は例年と比較して何年分ぐらいになるか。

松岡建設課長 今回の予算額は、その17.2倍ほどになり、61年分にあたる。

福永議員 総災害復旧費の起債は、総額が25億円として、起債は大体何%ぐらいか。

藤本課長 災害復旧費総額で25億6,566万7,000円。その財

源内訳が国庫金、地方債、その他で起債が8億6,897万3,000円で、33.9%ほどが地方債になる。

教育費

森田議員 工事請負費で、その他の工事の説明を。

米満学校教育課長 中学校給食室解体工事後、更地の舗装及び排水工事、それと渡り廊下の修復工事、これらをその他の工事費で計画している。

森田議員 給食センターの職員の数に所長の分が出ていない。どうなっているのか。

吉本敏課長 11月現在の人員で当初予算を計上しているので入っていない。3月3日に給食センター準備のために技能労務職員等の異動の内示を行った。所長の内示も行ったが、学校教育課の中の職員の為、4月1日の異動後に所長分は補正で計上したい。



高木分館の役割をになっている下高野公民館

森田議員 予算案だから所長分も入れての計上ではないのか。所長含め19名になったときの全体の予算はいくらか。

吉本敏課長 全体分の試算は今の時点では行っていない。

森田議員 A E Dのリース料とは何か。

藤本社会教育課長 水越、七滝、田代東部公民館に設置する3台分。

藤川議員 中学校受入れ施設の設計料120万円、これは概算工事費の中に含まれているのか。

米満課長 28年度は配膳室の管理委託料、29年度に解体及び外構工事関係、舗装、排水、渡り廊下の修復工事等の予算として120万円計上した。

中城議員 小学校の学校管理費の総額で1億1,400万円の減になっている。これは、給食センターに異動した分か。

米満課長 そのとおり。

中城議員 中学校も同じだが人が減った分はどこに計上されているのか。

米満課長 人件費の中の学校給食費になる。

中城議員 公設公営だから人員を減らすわけにいかないではなく、今後は統合メリットをだしていただきたい。

米満課長 公設公営でスタートしたが、公設民営を目標に考えていきたい。

沖議員 高木分館と言うが町の補助はない。分館として

100%使うわけではないが、地区公民館としての運用はあり、何割かの水道代、電気代の補助はできないのか。

本田副町長 高木の分館として町も使用しているので、下高野の区長と町と話し合って解決したい。

沖議員 高木分館を建設する予定はあるのか。

藤木町長 検討していきたい。

田上議員 小学校の空調設備で、小坂小学校があるが他の小学校の計画は。

米満課長 残った小学校を順次計画していきたい。

田上議員 コミュニティスクール委員会についての説明を。

本田学校教育長 七滝中央小学校のコミュニティスクールの中で会議をする委員の方々の委員報酬である。

田上議員 コミュニティスクール委員会ではどういうことを話し合っているのか。

本田教育長 今年度は2回開かれたが、民生委員、区長、公民館長や地域の方々を集め、学校と協力して地域が何ができるか、あるいは地域のために学校が何ができるかを話し合う会議である。

田中議員 健康体操は、どういう形でされるのか。

藤本課長 道具を使った筋トレ、ノルディックウォーキング、フィットネスダンス等を6月から3月まで。毎週火曜日午前10時から12時、木曜日

の午後1時30分から午後3時30分で計画をしている。

田中議員 どこで行うのか。

藤本課長 実施場所は、武道場を予定している。アリーナが完成した後は、トランポリン教室も別に計画している。

田中議員 トランポリンは今後どのように生かしていくのか。

本田学校教育長 社会体育移行は、「ふねっぴー」から「Mスポーツ」に。準備委員会の段階だが、部活動とは別に、新しいスポーツに取り組んでもらう一番いい機会だと捉えている。

岩永議員 学校職員用タイムカード代、タイムカードインク代の説明を。

米満課長 教職員の勤務状況、長時間労働を防ぐための教職員向けタイムカードのカード代とインク代である。

岩永議員 I C T支援委員派遣業務委託料についての説明を。

米満課長 小学校からの要望で、中学校のI C T支援委員を小学校にも回っていただくために組んだ予算。

沖議員 袴野小中学校の維持管理費が53万円出ているが、益城町の負担は幾らか。

米満課長 平成28年度については、79万8,000円。割合で御船町が7、益城が3の負担である。

3月議会における 議員の発言（質疑）回数	田 端	森 田	岩 永	中 城	福 永	田 上	藤 川	池 田	清 水	塚 本	田 中	沖	岩 田	井 本
	14	17	34	55	85	117	41	13	9	—	28	110	15	議長

上記の表は3月議会の質疑において、発言のために議長から指名された回数を「発言回数」として掲載しています。発言内容等に関しては、議会傍聴や議事録で確認されることをお勧め致します。



Q 上野インター開通に伴う山間部の活性化策は？

A 行政主導より、地元の皆さんがどう考えるかだ

岩永 宏介 議員

荒廃竹林問題の解消に向けて

岩永議員 熊日新聞（1月31日）に「荒廃竹林の竹を活用した建材の生産で、地域循環型のビジネス展開を目指す『バンブーマテリアル』（南関町）は30日、事業計画を発表した」とある。

藤木町長 南関で竹に対する事業を始めるといふ噂を聞き、南関町長に会いに行った。その会社の話を聞き、是非とも御船町の竹林問題も解決したい、一緒にできないかと話した。昨年から両町で提携してやっていこうと話している。

岩永議員 問題はその先だ。竹を伐採し出せば町が補助金を出すとか、誘い水をしないと荒廃竹林問題は前に進まない。

藤木町長 市町村が一体となり、南関町を中心に協定を結んでいきたい。

上野インター(仮称)開通に伴う山間部の活性化について

岩永議員 過疎地域における定住促進、企業誘致問題は行政がある程度ルールを敷くべきだ。

本田副町長 行政主導でやるより、地元の皆さんがどう考えるかだ。今後地元の方々が意見を出してこられる。

岩永議員 行政が地元地区住民の意見を聞く機会はあるのか。

本田副町長 村座談会、校区

座談会を開いたりして、機会を作っていかなければならない。

岩永議員 上野インター開通に向けて、上野・田代校区の住民から具体的な意見は出ていないということか。

本田副町長 インターが完成してないので、どのような形に土地状況がなってくるのか、今後完成に近づいて意見が出てくると思う。

岩永議員 インターができることは確定している。町はどういう考えを持っているのか。

藤本企画財政課長 昨年12月の補正予算で企業誘致のアドバイザー委託契約予算を確保した。これを使って、インター3箇所をどう進めるか基礎調査を行っている。近々中間報告が出る。

現在の財政状況から補助金の有効活用は不可欠というのであれば…

岩永議員 住民が活用できる補助金の知らせが、国や県か

ら届くと思うが？

藤本課長 当然、届く。広報誌を使って情報は流している。

岩永議員 「農山漁村振興交付金（都市農村共生・対流及び地域活性化対策）」という補助金の知らせは届いたか。

藤本課長 知らない。

岩永議員 私はこの補助金は使えると思って、九州農政局の説明会に参加した。説明会に町は参加したか。

松永農業振興課長 農業振興課からは出席していない。

岩永議員 当初予算編成方針に補助金の有効活用をうたうのであれば参加すべきだ。例えば都市と農村の交流施設を作るのにこの補助金を使わない手はない。

藤木町長 私も同じ思いだ。九州農政局に移住定住に向けて、私ども中山間地域の思いを話した。

その地域性を把握しながら、空き家を利用した民泊、中山間地域で子どもたちの農業体験などを考えている。



工事が進む「上野 IC (仮称)」付近

Q超老朽化した町営住宅対策は A平成29年度を目安に解決を図りたい

福永 啓 議員



一
般
質
問

福永議員 町内にある町営住宅のうち、戦後間もなく建てられた木造の町営住宅をどうするか、ということは、長年の懸案だった。老朽化に加えて、今回の震災により大きな被害を受け、超老朽化した町営住宅対策は待ったなしの状況である。

以前は、転居先がない、転居費用がない、転居先の家賃が心配、などの理由から、なかなか転居が進まなかったが、今回の被災で我々は思い知らされた。災害はいつ起こるかわからない。命の問題である。なんとしてでも今解決しなければならない。今は、震災に係る制度があり、特に半壊以上の町営住宅入居者については、転居先や転居費用、家賃の不安に一定の答えが出せる。期限を切って、早急に対応しなければならないのではないのか。

松岡課長 町民の生命財産に関わる重要な事柄でもあるので、町として危険な住居からは一日も早く転居いただくよう、住民の方々に説明を繰り返してきたところである。震災後、仮設住宅に転居いただいた世帯もあるが、未だ多くの方々が老朽化した町営住宅に居住されている実態があるので、今後共、震災に係る制度の説明を含め、ねばり強く転居の交渉を進めていきたい。



老朽化した町営住宅（牛ヶ瀬団地）



老朽化した町営住宅（辺田見団地）

少なくとも老朽化が激しい町営住宅については、平成29年度中を目安に転居を完了させるべく努力したい。

福永議員 御船町の仮設住宅は、21箇所と県内最多となっている。また木造住宅も150戸と大変多くなっている。これは他町村に見られない大きな特色であると思うが、なぜこのような形で仮設住宅を整備したのか。

藤木町長 当初仮設住宅用地として検討した中原北用地が

地盤の問題から建てられなくなり、新たな仮設候補地を探す上で、重要視したのが地域コミュニティーだった。県としてはある程度まとまった団地がほしいということであったが、知事に直談判した。仮設というのは、ただそこに住めばいいという問題ではない。生活環境を整えることで次へつながる一步を踏み出すことができる。仮設団地を多くしてコミュニティーを守る。木造仮設を多くして、生活環境を少しでも整えるという方向性を打ち出してきた。



Q被災した農地の復旧復興計画は A平成30年度までに行っていく

田上 忍 議員

田上議員 災害を受けた農地の件数及び面積は。

藤木町長 被災を受けた農地の件数は2,344件、約300㎡となっている。復旧申請されているのは413件、約53㎡。

田上議員 復旧計画をどう考えるか。

藤木町長 災害を受けた農地の復旧は、農地と災害復旧事業と基金事業である農家の自立復旧支援事業を活用して復旧事業に取り組んでいる。優先順位を設け、平成30年度をめどに事業完了を予定している。後継者不足、耕作放棄地や有害鳥獣対策等の中山間地域の課題も踏まえて、基盤整備等も検討していかなければならない。

田上議員 復旧困難な農地の活用はどうするか。

藤木町長 中山間地域直接払制度や多面的機能支払交付金事業の充実、さらに農家の自立復旧支援事業のさらなる中山間地域総合整備事業や農業農村整備事業等による農業基盤整備の増加を進めなければならない。

田上議員 化石発掘広場の具体的整備内容は。

藤木町長 地方創生加速化交付金事業を活用し、化石ひろば内の環境整備を進めている。具体的には発掘体験者の熱中

症対策と、雨天時でも開催できるように化石発掘体験場として木造あずまやを建築している。吉無田高原緑の村に入村者が気楽に化石発掘体験ができる体験場も同時に整備中である。

田上議員 施設の整備について、具体的な考えがあるか。

藤木町長 地方創生拠点整備事業により、緑の村キャンプ宿泊施設の刷新を行っていく。具体的な整備内容は、ゆうすげの丘の活用を目指し、隣接した敷地に新たなドーム型キャンプ宿泊施設を設けていく。ゆうすげの丘から、島から半島まで見渡すことができる眺望と、有明海に沈む夕陽、熊本市内の夜景、吉無田の星空観察などで集客を図っていく。

田上議員 御船町特産品の情報発信と販売促進はどのように行っていくか。

藤木町長 御船町特産品認定審査会が協議を重ね19品目を御船町のいさぎとして認定をした。今後も引き続き追加募集手続きを行い、認定商品を増やしていく。

情報発信と

して広報みふねに今年1月から3回に分けて連載し紹介を行っている。町民の皆様実際に家庭で使っていただき、贈答品に活用していただくことで、一つは口コミ等広がっていくことを期待している。インターネット上ではリニューアル予定の観光ホームページに御船町特産品のダグを設けるとともに、ふるさと納税の民間ポートサイド、ふるさとチョイスにも掲載し、町外に情報を発信していく。

販売促進については、次年度に観光交流センター内に特産品コーナーを設け、観光協会主体で販売を行っていく。そのほか町内唯一の温泉施設華ほたる土産物コーナーの一角に御船のいさぎとして設ける。また、商工会において販売協力できる会員店舗について現在検討を行っている。各種イベントなど、物産展等への優先的な出店呼びかけを図っていく。



一年が経過しても復旧が進まない農地

Q 嘱託区再編にどう取り組むか

A 地域を特定して再編に取り組む

田端 幸治 議員



一
般
質
問



高速道路工事現場 地域の活性化が期待される

田端議員 御船町は平成16年から嘱託区再編に取り組んできたが、今日まで再編がなされていない。時の経過と共に中山間地は高齢化・人口減少が進み、地域自治そのものが難しくなっているが、今後においては単に嘱託区の合併という観点だけではなく、地域自治のあり方や運営に言及し、組織の再編に取り組む必要があると思うが、嘱託区再編について町長はどのように取り組むのか。

藤木町長 嘱託区再編については、以前と状況が変わったことを踏まえ、複数の嘱託区の連携が必要な時期にきていると感じており、特に（人口の50%以上が65歳以上の）限界集落が85嘱託区中25嘱託区存在している。今後、高齢化率の高い地域を中心に、地域の実情を勘案し、再編のあり方や地域自治のあり方について積極的に考え、地域を特定し、その地域においてまず

やってみるという方法をとっていききたい。

中山間地の人口減少対策は

田端議員 熊本地震により、住宅被災による地区外移住や農地災害による農家離れで、中山間地の人口減少は更に深刻になっていくと思われるが、人口減少対策は。

藤木町長 中山間地における生活機能の強化が必要になる。定住促進については、交流人口拡大に向け、地方創生関連事業を活用し、移住・定住を

かなえる受入態勢の構築、震災復興計画において、上野インター（仮称）周辺を交通の利便性を活かした拠点形成ゾーンとして位置づけ、地域活性化に資するような有効な土地利用を検討していく。

公共施設等総合管理計画について

田端議員 時代の変化、人口減少に伴い、現在の公共施設のあり方について見直す時期にきており、国も平成28年度までに行動計画の策定を求めている。御船町における公共施設等管理計画はどのようになっているか。

藤木町長 公共施設等総合管理計画については、今月中に策定することにしており、今後、計画に基づき、将来的に配置した方がよい施設や、町民ニーズによって民間への売却や、用途変更、長寿命化を図る施設等、方針を示し、早い段階で公表したいと考えている。



震災被害の大きい旧七滝小学校



Q給食センターの公設民営化はいつか A早く公設民営化に

藤川 博和 議員

藤川議員 御船町のスポーツセンターは29年度内に完全復旧するのか。

藤本社会教育課長 スポーツセンターについては、武道館とプールは昨年11月から再開している。

アリーナについては11月中にはオープンしたいと思っている。

藤川議員 町民グラウンドは復旧して使用するのか。それとも、新しく建設されるのか。どのような計画をもっているか。

藤木町長 町民グラウンドの復旧に関しては、調査して、どの程度の修復をするのか、周りの環境整備や崩落防止等を行って、グラウンドで球技が出来るか、調査しなければならない。

復興に関しては、私の思いとしては、総合グラウンド建設というものを前提に復興にあたっていきたい。

藤川議員 4月から給食センターが所長1名、栄養士1名、技能職員1名、非常勤8名、運転手3名で運営される。経理担当は誰か。

米満学校教育課長 一応、所長の予定。

藤川議員 運搬車輛について、給食センター新築工事概算事業費の中では、車輛購入2台、購入金額1,350万円となっている。いつ頃2台が3台に変更になったのか。また、購入

金額は。

米満課長 職員で各学校の受入施設までの進入路を調査した結果、ロング車が入らない学校があると判明し、昨年の11月に2トン車3台にした。

藤川議員 教育委員会は、センター建設前に事前調査はしなかったのか。

米満課長 平成21年に教育委員会に着任した。当時から車2台の報告をうけていたので、平成26年に報告書が車2台で上がっても、何ら違和感を感じなく、そのままで、今回現地調査した所、ロング車が入らないことが判明した。

藤川議員 2台から3台になった。購入金額は。

米満課長 2台1,350万円の予算額が、3台で1,723万円の購入額。

藤川議員 給食センターの民間委託について、甲佐町では、民間委託料が年の人件費2,375万円で契約されている。

御船町の29年度センターの人件費は、6,200万円ぐらい。28年度自校式での人件費は、1億2千万円ほどかかった。

町は財政が逼迫しているといわれている。センターの民間委託は考えているか。

藤木町長 今、公設公営でスタートしたが、早く公設民営化に移していきたい。

センターでは、防災機能を導入し、空き時間を利用して防災食を作り、防災時に役立てていきたい。



29年4月竣工 給食センター

議長に田端幸治氏、副議長に清水聖氏を選出

4月会議を4月13日に開催した。新議長に田端幸治氏、新副議長に清水聖氏を選出した。なお、正副議長の就任に伴い、委員会構成の一部を変更した。

議長就任挨拶



田端幸治

御船町議会議長に就任しました田端幸治です。

まちづくりの基本は、お年寄りが安心して暮らせるまち・大人が地域社会や経済を創り上げていくまち・子どもたちが誇りとするようなまちにすることだと思います。

昨年発生した熊本地震、そして6月の集中豪雨から早一年が経ちました。今も仮設住宅やみなし住宅での生活を余儀なくされておられる方や、農地復旧、商工業の再建、そして新たな地域づくりからまちづくり、

それらを成し遂げるための積極的な行財政改革と、将来に向けた課題は多様であり、このようなときこそ、議会の果たす役割は重要だと考えます。常に現場感覚・町民目線で先見性をもち、希望ある御船町の将来構想に向かって、合議体として充実した議論と的確な判断のもとに執行部と切磋琢磨し、スピード感を持って、まちづくりに貢献する御船町議会でありたいと思います。

町民の皆様のご協力をお願いします。

副議長就任挨拶



清水聖

この度、議員各位のご推挙により不肖私が副議長の要職に就任させていただくことになりましたことは身に余る光栄に存じますと同時に、責任の重大さも痛感しているところでございます。要職を十分に果たすことができるか、一抹の不安もありますが、一生懸命務めさせていただきます。

熊本地震発災から一年が過ぎました。被災された町民の皆様には、大変不自由な思いをおかけし、心苦しく思っています。自

然災害の怖さをいやと言うほど思い知らされた一年でもありました。一日も早く強固な生活基盤の整備と防災体制の充実を図り、前よりも良い形でまちづくりを目指し、「安心・安全」の確保に全力で取り組まねばなりません。

名誉ある席を汚さずに、その職責を全うするよう最大の努力をいたしたいと願っている次第でございます。重ねて皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

今回、変更された委員会

■ 議会運営委員会

委員長	池田 浩二
副委員長	福永 啓
委員	塚本 勝紀
委員	清水 聖
委員	藤川 博和

■ 総務文教常任委員会

委員長	藤川 博和
副委員長	池田 浩二
委員	井本 昭光
委員	田中 隆敏
委員	清水 聖
委員	中城 峯雄
委員	森田 優二

■ 地方創生調査特別委員会

委員長	清水 聖
副委員長	藤川 博和
委員	井本 昭光
委員	沖 徹信
委員	中城 峯雄
委員	岩永 宏介
委員	森田 優二

■ 災害復興支援特別委員会

委員長	清水 聖	委員	沖 徹信	委員	田上 忍	委員	森田 優二
副委員長	藤川 博和	委員	田中 隆敏	委員	福永 啓		
委員	岩田 重成	委員	塚本 勝紀	委員	中城 峯雄		
委員	井本 昭光	委員	池田 浩二	委員	岩永 宏介		

かがやく



子供との関わり方は人それぞれ

4月から末っ子が中学校へ入学し、可愛い盛りの小学校生活は親子共々卒業となりました。現在、中3の男女の双子と中1の息子の母です。

私は、これまでの子育てに、大なり小なり反省や後悔はありますが、「今できること・今しかできないこと」を考えてきました。

若葉保育園時代から木倉小学校と、いろいろな役員をさせていただきましたが、地域の方々の協力あって、学校行事や活動ができていることに感謝しています。

昨年度は、御船中学校PTA会長として保護者と学校の架け橋となり、行事やPTA活動に携わることができました。

「役を受けることの大変さはやった人にしか分からない」とよく言いますが、大変なことばかりではなく、人との出会い、日常では知るこ

とのできない情報、また人それぞれの考え方等、勉強になることの方が多かったように思います。

仕事・家庭・PTA役員と、余裕ある時間はほとんどありませんでしたが、学校に出入りすることで、多くの子供たちの頑張りや成長を間近で見ることができ、実りの多い1年となりました。

また中学生になると、心も身体もぐんと成長し、親は子供の反抗期との闘いも始まります。

毎日、笑ったり怒ったり、親も忙しくなりますが、手が離れた時に、「大変だったけど充実した楽しい子育てだった」と思える人生となるよう、これから3人の我が子と共に中学校生活を満喫したいと思っています。

「子は地域の宝」として、これからも御船っ子を地域の皆さままで温かく見守っていただければと思います。



西木倉 河地ゆかりさん

議会の予定5月

- 8日 全員協議会
広報編集特別委員会
議会改革推進特別委員会
上益城郡町議会議長会定例会
- 11日 議会
- 14日 視察受入(北海道羊蹄山麓町村議会正副議長会視察)
- 16日 加勢川期成会総会
- 22日 熊本県町村議会議長会議長研修会
- 24～26日 御船町甲佐町衛生施設組合視察研修
- 31日～ 全国町村議会議長会議長・副議長研修会(東京)

編集後記

昨年四月に発生した熊本地震から、早いもので一年近く経ちました。町では、平成二九年度を復興元年として、現在策定中の震災復興計画に基づき、復興に取り組んでいます。これまでに、地震で損壊した住宅の公費解体については、三月末時点の進捗状況が発表されました。解体想定数1,546棟、解体済みの棟数922棟で全体の59.6%となっています。また、土砂崩れや橋の崩落などにより道路の通行止めが随所に見られ、復旧に向けた工事が続いています。農業関係においても、農地、農業用施設など甚大な被害を受けました。地割れした水田や、六月の大雨で崩壊した用水路など、復旧には多くの時間が必要と思われます。中山間地区では、土砂が水田に流入して、今年も水稲の作付けを断念しなくてはならない状態です。農家にとって、作付けができないことは死活問題です。一日も早い復旧、復興を祈ります。

岩田重成

議会広報編集特別委員会

発行責任者	井本 昭光
委員長	田上 忍
副委員長	岩永 宏介
委員	岩田 重成
委員	清水 聖
委員	中城 峯雄
委員	森田 優二